

特別職報酬等

審議会条例を可決

一月二十七日から会期四日間で議案九件、報告一件が審議され、職員定数条例の改正案が継続審議となったほかはそれぞれ原案を可決、同意、承認された。

おもな内容は次のとおり。

特別職（市長、助役、収入役、固定資産評価員および議員）の給料、報酬を定めた条例を改正。例。地方自治法の改正によって議例の改正と予算の補正（ベースアップ分約九百万円）。

職員の退職手当に関する条例の不備を改めるための一部改正案。人事院の勧告に準じて職員の給与を改めるための給与に関する条例の改正と予算の補正（ベースアップ分約九百万円）。

会の議決を必要とする契約は予定価格を三千万以上の工事または製造の請負とし、財産の取得または処分は二十万円以上（土地は一件五千万円以上）と定める条例。

国民健康保険税の減免率を台風の被害により増額するため条例改正。

教育委員の島本保義氏の任期が満了したので後任を選任するための同意議案、島本保義氏（瓶岩地区）の再選に同意。

そのほか国保特別会計（事業勘定）の補正、一般会計補正予算の専決処分報告などの承認。

炉火に部落の花が咲く

親しみの湧く中ノ谷

現地ルポ

この中ノ谷部落は旧上倉村の白木谷にあり、戸数は十六、七戸を数える小さな部落である。この点在し、隣の人にもめったに会わないことがある。部落の中心には白木谷の小学校があり旧上倉村の中心地であったところ、しかしいまでは市の中心地から車で三十分ほどの山間地帯となり、戸数も少し減少したものの住めば都のたえ、父祖伝来の地を離れないという人たちがいます。

部落会は毎月二十五日のよる、すべての家庭から出席してひらかれています。

戦前は小学校や民家で行われた部落会も、いまでは会堂で開かれていきます。会堂は戦時中村内にできた海軍の兵舎を戦後払い下げを受けて建てた八坪余りのもので、このような会堂は、旧上倉村当時各部落に建てられたが、公民館の出現によりほとんど残さずなくなり、ここだけではないかと部落の人たちは自慢していた。

会堂には二つのいろりがあり、寒い間はそれぞれとかかえのまきをもちより、いろりをかこんでのだんらんは、えもいえぬたのしさが湧、親しさを増していきます。事実、ヘポッコ記者もこの神秘的な



いろりをかこんで集金係もいそがしい

むかしながらの炉火にむかって、いいよらない親しみと心の安らぎを覚え、古いむかしながらの味をしみじみと味ったものです。

ところで部落会は、市や農協、部落などのお知らせの伝達とか、むかしながらの炉火にむかって、いいよらない親しみと心の安らぎを覚え、古いむかしながらの味をしみじみと味ったものです。

と、二期作地帯や純山間地帯と違って、中山間地帯のこのあたりは現金収入の道が一番むつかしいところだ。

むかしは木炭で生活ができていたが、いまは原木も少なく需要も減少し、二期作地帯や純山間地帯と違って、中山間地帯のこのあたりは現金収入の道が一番むつかしいところだ。

「竹」の産地としては名高く、たけのこは短期間であるが加工の値もよい、その当時はよいが、役のかかる水田作りの夏場の現金収入はまったくない。一部に密柑を取り入れる計画もあるが、現状では救われぬ土地である。しかし生を受けた土地をなんとか、すみよいものにしたい、というのがこの人たちの願いのようだ。

部落の話し合いなども行われ、税金や電気料、貯金や保険料なども、それぞれ決められた係の人たちにより集金され、はては市政のあり方とか、世間はなしにも花が咲き、夜の更けたも忘れて語り合おうことがたびたびあるとか、実に便利な組織の上に立った会といえます。

また、電気料などには取り扱いは手数料があり、部落の経費の一部にあてられているようです。ところでここにはむかしからお伊勢講なるものが続けられており、戦前には部落のものが二、三人お伊勢講まいりをしたそうです。いまでは十月十六日の会堂にみんながつまり、はるかにお伊勢さまをおがみ、一こんくみかわすならわしになったとか、会堂の神棚にもお伊勢さまがでんとお座して、いま父兄の声もあつた。

自給、自足ができないので、別に収入を求めなければならないため、子弟の教育には熱心で、九〇%以上は高校に進学している。中学校の統合はさかんにいわれているが早く実現してほしい、また小学校の複式授業の解消と、とくに危険校舎の指定を受けている校舎の改善を望みたい。PTAに対する努力率なども多いようだ、PTAへの背替りのないよう市も充分気を配って整備をしてほしいという父兄の声もあつた。

などいろいろ切実な意見が出された。

このあたりの特産はなんといっても「竹」と「たけのこ」で、それ

このあたりの特産はなんといっても「竹」と「たけのこ」で、それ

第3回農協訪問駅伝

記録的にはふるわず

鈴江農機、高知農、久礼田中が優勝

回を重ねるごとに市民に親しみを増してきた第三回農協訪問駅伝競走は、一月二十四日、十六チーム（一般八、高校三、中学五）の参加を得て、全行程四十五、一キロのコースで行なわれ健脚をきそいあいました。

午前中の前半は比較的おだやかであったが、午後のは後半は向い風が出たのと、高知農のトップレベルの選手が、他の競技会に出場したため、昨年にくらべて記録が落ちていました。

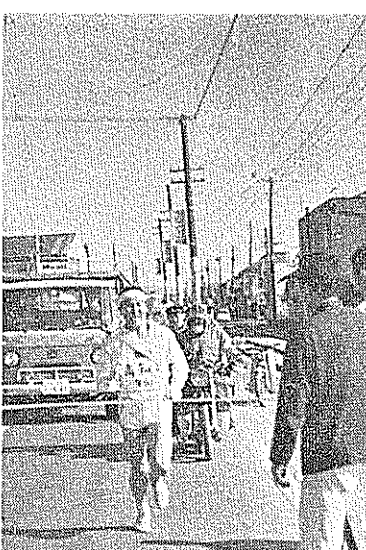
なおこの日から区間賞が設けられました。

順位	チーム名	記録
一位	久礼田中	2・47・47
二位	香南	2・48・44
三位	岡豊	2・50・21
四位	香長	2・50・26
五位	ケ池	2・50・42
六位	高知農	2・27・56
七位	東工B	2・36・18
八位	東工A	2・41・51
九位	江農機	2・39・43
十位	瓶岩体育	2・41・16
十一位	十市体育	2・48・46
十二位	前浜農協	2・51・0
十三位	長岡農協	2・52・02
十四位	協和農機	2・54・39
十五位	大篠農協	2・55・31

区間賞	記録
第一区 竹村道雄(前浜)	12
第二区 宮内謙二(高知農)	12
第三区 宮内謙二(高知農)	12
第四区 杉村淑人(香南)	13
第五区 鈴木実(鈴江)	19
第六区 中沢信幸(東工B)	20
第七区 北村洋介(香南)	21
第八区 山本丁三(十市)	18
第九区 小倉邦彦(高知農)	19
第十区 土居秀孝(香長)	21
第十一区 岡崎洋二(鈴江)	19
第十二区 高島田道敏(東工B)	18
第十三区 三宮政雄(香南)	20
第十四区 山田昭彦(前浜)	14
第十五区 小原平(高知農)	13
第十六区 沢田一彦(香南)	15
第十七区 山田村実(協和)	16
第十八区 松本秀雄(高知農)	15
第十九区 井口善喜(ケ池)	16
第二十区 岡崎邦雄(瓶岩)	18
第二十一区 仙頭豊繁(高知農)	18
第二十二区 村上富男(岡豊)	20
第二十三区 山崎武史(鈴江)	18
第二十四区 浜田博司(高知農)	17
第二十五区 宮地滋(久礼田)	19
第二十六区 濱田敏広(前浜)	13
第二十七区 有岡正幹(高知農)	13
第二十八区 中村功(香長)	14



いつせいにスタート



アンカー有岡選手 (高知農) ゴールイン

瓶岩体育会の後援会ができる

オリンピックを契機としてスポーツ熱は、非常に高まり各地でいろいろな体育行事が盛んに行なわれるようになりました。しかし、これが選手に参加については、旅費などの経費に苦勞しているものですが、これを少しでも解消し、力いっぱいプレーができるようにと、地区民の人たちが後援会を結成し、スポーツを通じて、青少年の健全な育成をはかるとともに

農山村から青年の流出を防ぎ、明るく力強い地区にしよう、このほど全地区民が結ぶみで立上がった地区があります。それは瓶岩地区のこと、ここには若い人たちがたくさんいる瓶岩体育会があり、むかしから活躍しています。この若い人たちの活動を経済的に援助しよう、と、その後援会がつくられたもので、会長には岡本卓一(瓶岩農協組合長)、副会長に岡崎俊一(市体育指導委員)、顧問に地元選出の岩原栄喜、野島浩洋の各氏があつたことになっています。